

# 令和5年度 育英講演会

公益財団法人 飯塚教育英会

講師

映画監督

## 五十嵐匠氏

—日本映画監督協会所属—

1958年(昭和33年)9月16日 青森市に生まれる。弘前高校、立教大学文学部日本文学科卒。岩波映画・四宮鉄男監督に師事。TBS「兼高かおる世界の旅」制作のため、アラスカをはじめ、世界各国を回る。以後フリー。

### 劇場用映画(監督作品)

- 長編ドキュメンタリー映画「SAWADA-カメラマン沢田教一の生と死」(1996) 毎日映画コンクール 文化映画グランプリ・キネマ旬報文化映画グランプリ
- 映画「地雷を踏んだらサヨウナラ」(2000)(浅野忠信主演 共同脚本) 毎日映画コンクール 主演男優賞(浅野忠信)バンコク映画祭 観客賞
- 映画「HAZAN」(2003)(榎木孝明主演、南果歩他) ブルガリア・ヴァルナ国際映画祭 グランプリ、同映画祭 批評家連盟賞
- 映画「長州ファイブ」(2007)(松田龍平主演・監督脚本) 第40回アメリカ・ヒューストン国際映画祭 グランプリ
- 映画「二宮金次郎」(2019)(合田雅吏主演)他
- 映画「島守の塔」(2022)(萩原聖人、村上淳、吉岡里帆、香川京子・監督脚本)他

### 出演俳優の数々の映画賞受賞

- ミニシアターランキング9週連続 TOP5 ランクインの偉業を達成
- 「第45回山路ふみ子映画賞」で吉岡里帆さん(女優賞)、香川京子さん(功労賞)のW受賞
- 「第44回ヨコハマ映画祭」で吉岡里帆さん(主演女優賞)
- 「第32回日本映画批評家大賞」で吉岡里帆さん(助演女優賞)

『映画をつくるということ』  
—映画「島守の塔」を監督して—



©2022「島守の塔」製作委員会

事前申込要

入場無料

令和5年 **8月26日(土)**

会場

宇都宮東武ホテルグランデ 6F「龍田」  
宇都宮市本町5-12 TEL028(627)0111

映画「島守の塔」上映会も併催

**13:00~16:40**

映画上映 130分 講演 60分

後援／栃木県、栃木県教育委員会、栃木県高等学校長会、下野新聞社

[参加申し込みはこちら](#)

参加申込  
お問い合わせ

(公財)飯塚教育英会

事務局 TEL: 028-649-2121



## 〔映画のSTORY〕

沖縄戦末期、本土より派遣された2人の内務官僚がいた。

1人は学生野球の名プレイヤーとしてならし、戦中最後の沖縄県知事として沖縄に赴任した島田勲(あきら)。島田は、度重なる軍の要請を受け内務官僚としての職務を全うしようとする。

しかし、戦禍が激しくなるにつれ、島田は県政のトップとして軍の論理を優先し、住民保護とは相反する戦意高揚へと向かわせていることに苦悩する。

そして、多くの住民の犠牲を目の当たりにした島田は「県民の命を守ることこそが自らの使命である」と決意する。

もう1人は、警察部長の荒井退造。島田と行動を共にし、職務を超え県民の命を守ろうと努力する。

実は、沖縄戦で2人はそれぞれ重い十字架を背負っていた。荒井は、子供など県民の疎開を必死に推し進めていた。

その矢先、本土に向かっていった学童疎開船「対馬丸」が米軍の攻撃に遭い、数多くの子供たちが犠牲となった。

また、島田は知事として、軍の命令で鉄血勤皇隊やひめゆり部隊などに多くの青少年を戦場へと向かわせていた。

2人はそれぞれ十字架を背負いながらも、戦禍が激しくなるのに伴い、必死に県民の疎開に尽力し多くの沖縄県民を救っていった。

一億総玉砕が叫ばれる中、島田は叫んだ。

「命どう宝、生きぬけ！」と。



第27代沖縄県知事

### 島田 勲 しまだ あきら

1901年兵庫県神戸市生まれ。1945年1月、県知事として着任する。沖縄戦の混乱により県庁が解散するまでの約5ヶ月間、疎開の促進と食糧確保等、沖縄県民の生命保護に尽力した。

那覇市歴史博物館提供



沖縄県警察部長

### 荒井 退造 あらい たいぞう

1900年栃木県宇都宮市生まれ。1943年沖縄県警察部長に就任。沖縄が戦場となる危機が迫るなか、疎開政策に消極的だった当時の知事に代わり、県民の疎開・保護に尽力した。

栃木県立博物館蔵



摩文仁の丘に建立する「島守の塔」



島田勲と荒井退造の終焉の地を示す石碑



## 公益財団法人 飯塚教育英会

本会の設立者飯塚毅博士(株式会社TKC創業者)は、大学在学中、東京大学末延三次博士の奨学資金の給付を受け、経済的に困窮すること無く学業を全うし得たことに忘れえない恩義感を抱き、自らの出生地であり、また事業の基盤である栃木県における教育・育英に関する奨学事業に永年関心を寄せてきました。

飯塚毅博士は、平成7年12月に財団法人飯塚教育英会を創立し、「自利トハ利他ヲイフ」の理念のもと、究極の事業は教育であるとの精神を貫き、栃木県出身の大学生(栃木県内の大学に在籍する外国人留学生を含む。)及び研究を目的として海外に留学する大学生・大学院生で、学業が優れかつ健全な心身を持ちながらも、経済的な理由により就学が困難な者に対する資金援助を行い、もって将来社会に貢献しうる有為な人材を育成することに貢献してまいりました。

本会では、飯塚毅博士の精神を受け継ぎ、本会奨学生の皆さんが大学生活をより充実したものとすると共に、社会に貢献し得る有為な人材としてより一層成長されますことを支援する目的で、機関誌『刮目』の発行や育英講演会を開催しております。育英講演会は、講演を通じて奨学生の健全な心身の育成に寄与することを目的とするもので、本年度で第17回目を迎えることになりました。

本年は、講師に映画監督五十嵐匠氏をお招きし、『映画をつくるということー映画「島守の塔」を監督してー』の演題でご講演いただきます。講演を通じて、奨学生(OB・OG含む)の今後の生き方に少しでも寄与することを目的としています。